

# Koyomi

2024 | 令和6年

vol.52 12/20発行

## CONTENTS

Smile Pick Up!	1
次世代リーダー育成講座	2
私の施設の自慢の一品	3
施設長リレーコラム	4

原動力  
「入居者様の  
「ありがとう」が

Smile Pick Up!

ふじさき りさ  
藤崎 里沙さん

所属 / 特別養護老人ホームあいれふ安塚

職種 / 介護士

経歴 / 上越市生まれ

専門学校卒業後

社会福祉法人越後上越福祉会に入職

趣味 / 読書

### ●就職のきっかけ

人の力になりたいと思い、この仕事を選びました。初めて介護にふれたのは、小中学校の職場体験の時です。入居者の方とお話をしたり、車いすを押しながら散歩をする中で、とても充実した時間を過ごさせていただきました。その時に、職員の方が生き生きと仕事をする姿を間近で見たことがきっかけで、介護職に興味を持ちました。元々、祖父母と話しをすることが好きだったこともあり、介護施設での体験はとても楽しく、魅力を感じました。

進路を選択する時、その職場体験で感じたことを思い出し、介護職であれば、人との触れ合いを通して、助けが必要な方の力になれると思い、専門学校で本格的に介護を学ぶことを決めました。

### ●やりがい

入居者様の笑顔が見れた時や、「ありがとう」の言葉をもたらした時は、大変だったことも忘れるくらい嬉しいです。

様々な入居者様がいらっしゃる中で、どんな介助をしたら喜んでもらえるのか悩むこともありましたが、そういう時は、他の職員と相談し、より良い介助ができるように心がけています。頑張った分、その方に合った介助が提供できた時は、とてもやりがいを感じます。

### ●今後について

入職して6年目になりますが、これからさらに経験を積み、入居者様ひとりひとりの状況・状態に合った介護を落ち着いて行えるよう、介護技術をもっと身に着けていきたいです。そのために、色々な研修会に積極的に参加したいと思っています。

そして、安全・安心・快適・自由な暮らしができる、質の高いサービスを提供できる介護職員になり、10年後にはもっと自信をもって仕事をしたいです。

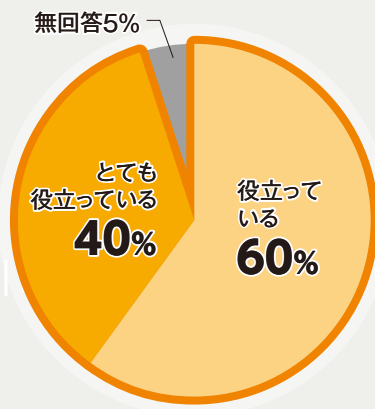
# 次世代リーダー 育成講座



将来の施設運営を担える人材の育成を目的として、令和4年から2年にわたり開催をしてきました。その第1期生を対象としたフォローアップ研修（令和6年11月15日）では、多くの受講者の方々からご参加いただき、とても有意義な研修会になりました。

## 受講者に聞きました

Q. 2年間の受講を終え、研修で学んだことは日々の業務に役立っていますか？



### 理由

- 根拠を持って数字を見ることができるようになった。
- “経営・リーダー”という新しい視点で物事を考えることができるようになった。
- 研修で得た知識は実際に加算や報酬改定等で活用できている。
- 運営や経営に視点を向けるようになり、日々数字を意識して仕事をしている。

Q. 研修会全体の感想を教えてください。

“施設長の候補”といった立場で参加させてもらうことで、自分の先々を意識する良いきっかけになった。

課題は大変だったが、研修会のペース（2ヶ月に1回）が丁度良く、定期的な受講することで振り返りができた。

収支等数字の部分を細かく教えてもらい、内容は難しかったが、施設のためにも今後活かせる内容で良かった。

第1期生の皆さん！  
大変お疲れ様でした！



※フォローアップ研修終了後撮影。



私の施設の

# 自慢の一品

特別養護老人ホーム  
大浦の里

厨房職員渾身の  
手作りケーキ

月に1度のおやつバイキングやクリスマスに提供しています。手作りならではの優しい味わいで、クリームやフルーツがたっぷり使われ、大変好評です。

この他ロールケーキやブラウニーなど、その時によって変わるメニューを楽しんで頂いています。



特別養護老人ホーム  
いなほ園

みんなで作った  
にっこり米

同じグループの医療機関と障害者就労支援施設、地域の皆さんと一緒に、お借りした田んぼで稲作を行っています。春の田植えから始まり秋の稲刈りで米を収穫して、はさ木で天日干しをした「にっこり米」をご利用者の皆さんに味わって頂いています。天日干しをしたお米はふくらと柔らかく、ご利用者の皆さんからも好評です。



特別養護老人ホーム  
長和園

お箸がとまらないおいしさ  
南瓜入り  
スパニッシュオムレツ

(給食業務委託:富士産業)

初めて提供した際、まるでケーキのような見た目に利用者からは驚きの声がかれました。オムレツの厚さは約3cm! 食べてみると、柔らかくて食べやすく、味も好評。箸が止まらないおいしさで、オムレツの中には、**南瓜と玉ねぎ、ダ이스チーズ**が入っています。南瓜の甘味とダ이스チーズの塩味が絶妙にマッチ! いくらでも食べられる一品です。残食率が低いことから、毎月定番の献立になっています。



特別養護老人ホーム  
吉田愛宕の園

園内喫茶店の  
季節の手作り  
スイーツ

当施設では毎月2回、園内喫茶を開催しています。地元で慣れ親しんでいる和洋菓子店の本格的なスイーツや、手作りスイーツを挽きたてのコーヒーと共に提供しています。

手作りスイーツは職員で意見を出し合い、旬な食材を使って味も見た目もこだわったものを提供しています。

9月の秋を先取りした「さつま芋フラベチーノ」や「ぶどうフラベチーノ」、10月の秋バイキングでの「ハロウィンスイーツ」はカラフルなチョコペンでデコレーションをし、見た目の可愛らしさも入り居居様に大好評でした。



募集

あなたの施設の自慢の一品は何ですか? 自慢の一品を随時募集しています。こちらからお寄せください。▶ <https://forms.gle/e25xcWYzLZv92oYe9>





# 施設長 リレーコラム

連載 | vol.52

## 入居者様の生活を 守る家として



ケアハウス希望の園  
施設長  
わたなべ みほ  
渡邊 美穂さん

満開散歩



### ケアハウス希望の園

事業所所在地 ● 新潟市北区神谷内254-2  
運営事業者 ● 社会福祉法人シャーローム  
事業所の種類 ● ケアハウス／従来型50名  
連絡先 ● TEL／025-258-6611  
E-mail／BCL10610@nifty.com

施設  
概要

ケアハウス希望の園は1994年4月1日に設立され、今年で30周年を迎えました。経営母体である社会福祉法人シャーロームは、2008年に新発田市にグループホーム富塚・のぞみの里を設立し16年目を迎えました。

小規模法人ではありますが、理念である「愛と希望」を念頭に置きながら入居者様一人一人に寄り添い、生活しやすい環境を提供できるように、また自分らしく過ごせるようにお手伝いさせていただいております。近隣にはこども園や大学、障害者施設があり福祉サービスも充実しています。居室の窓からは飯豊連峰の山々が観えて「景色が最高!」と喜ばれております。

当施設の自慢は2つあります。一つ目は食事です。管理栄養士の献立により、調理員が直営で毎食作っています。

物価高騰ではありますが、栄養士は質を落とさず、飽きの来ない食事を提供できるように工夫しており、入居者様からは「食事おいしい」とお褒めの言葉をいただいております。

もう一つの自慢は入居者様の気持ちに寄り添うことです。常に入居者様の立場に立って悩み事、困りごとなどの相談を受けており、どうしたら個別の要望に応えられるか考えながら実施しております。

コロナ禍になり、行事は少なくなりましたが、クリスマス・敬老の集い等継続できるものは形を変えて行い、少しずつですが、活気ある日々を提供できるようにしております。

今後の課題は、30年経過し老朽化した建物の修繕です。また、ここ数年の光熱水費・物価高騰により、収入よりも支出が増え赤字にならざるを得ない状況が続いております。今後も入居者様の生活の場を守るため、ケアハウスの存続は維持していかなばなりません。そのためには県・市からの多大なる支援が必要です。それでも、今できることを最大限考え、職員と共に努力していきたいと思っております。



ケアハウス  
希望の園



オセロ  
バト



職員による  
三味線芸



子供たち  
からの  
贈り物



青空  
珈琲タイム

